



GUNDAM.INFO Search
 www.gundam.info
 バンダイホビーサイト ▶ www.bandai-hobby.net/
Filed pursuant to your contribution and connection to the Internet are
 under our sole and exclusive responsibility.
 ホームページにアクセスする際の通信費等はお客様のご負担となります。



13

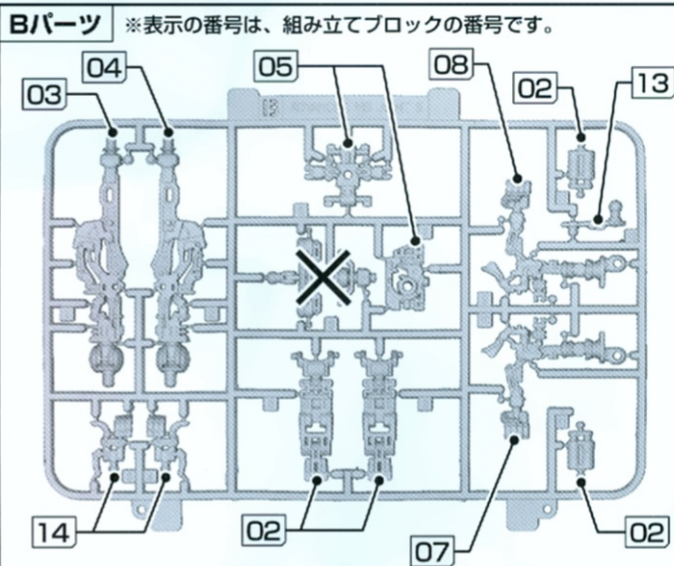
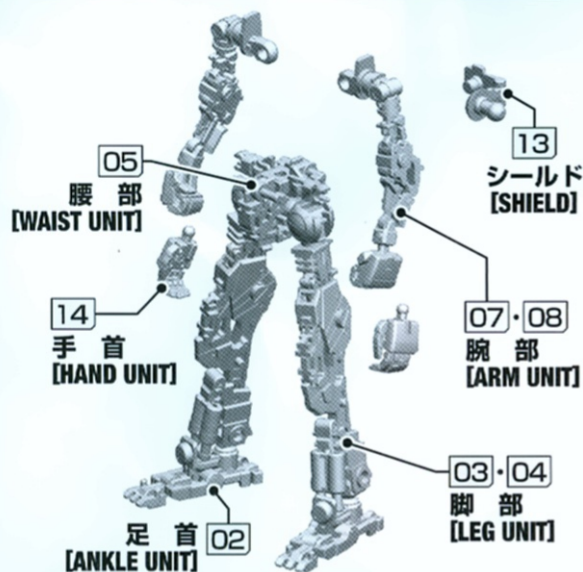
GUNDAM GPO1Fb FULL BURNERN
 E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT
 リアルグレード 1/144 スケールモデル ガンダム試作1号機 フルバーニアン

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
 We want to tell all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
 Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.



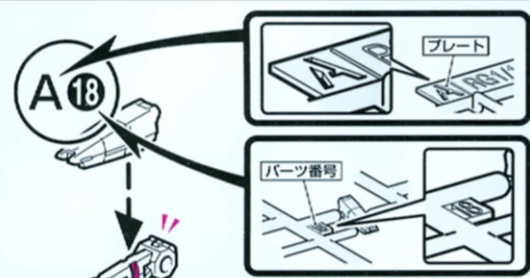
組み立て前の基本説明

アドバンスドMSジョイント5(Bパーツ)のフレーム構成は、図のようになります



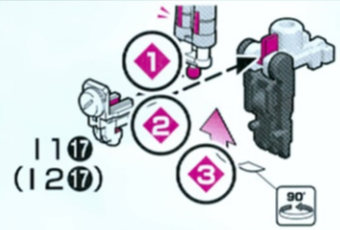
部品の探しかた

※説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。(パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。)



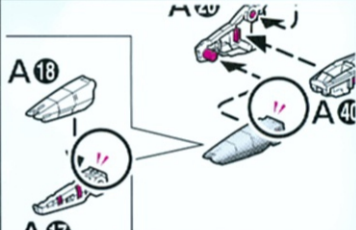
数字の順に組み立ててください

※組み立て図中に①②③のついている組み立ては、数字の順に組み立ててください。

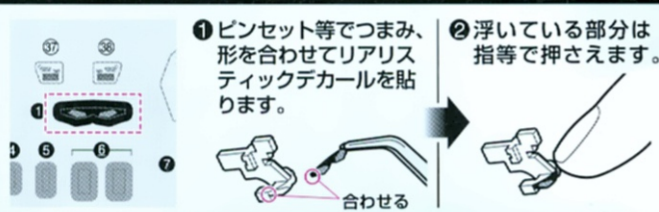


部品の向きに注意してください

※組み立て図中に『』のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



リアリスティックデカールの貼りかた



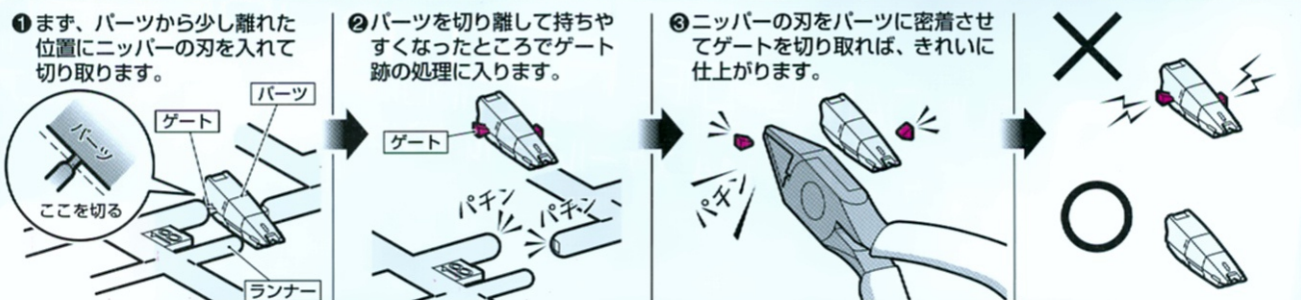
アンダーゲートの切り取りかた

▶アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。『』の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



パーツの切り取りかた



△ 注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

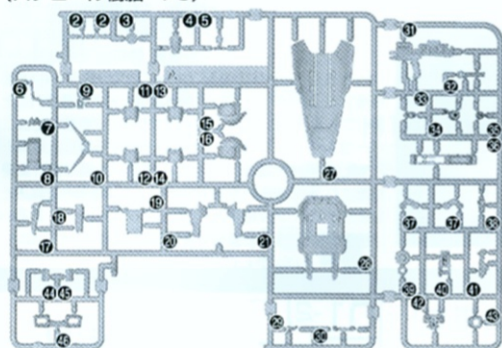
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。ピンセット等をご使用になると便利です。(道具類は付属しておりません。別にご用意ください。)

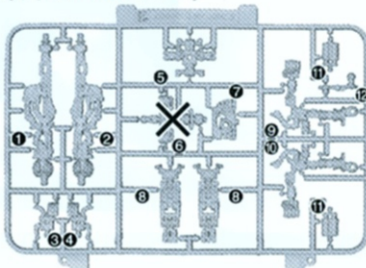
Aパーツ(イロブラ) アンダーゲート有D

(スチロール樹脂: PS)



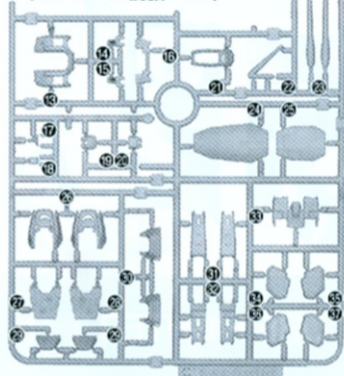
Bパーツ(ダークグレー)

(ABS樹脂: ABS)
(ポリプロピレン: PP)

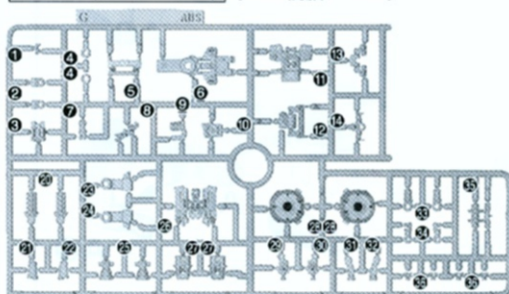


Cパーツ(イロブラ)

アンダーゲート有D
(スチロール樹脂: PS)



Gパーツ(ダークグレー) (ABS樹脂: ABS)



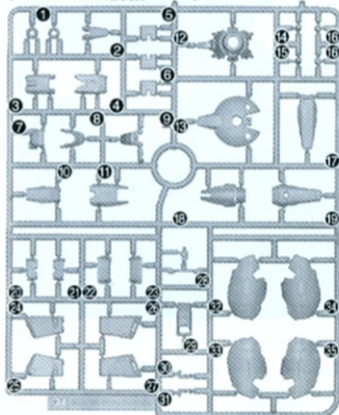
Fパーツ(ダークホワイト)

(スチロール樹脂: PS)



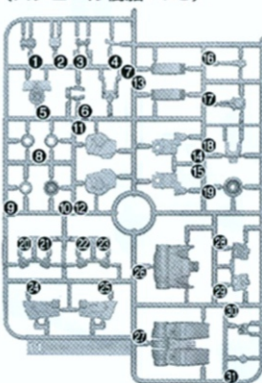
H1パーツ(ホワイト) アンダーゲート有D

(スチロール樹脂: PS)



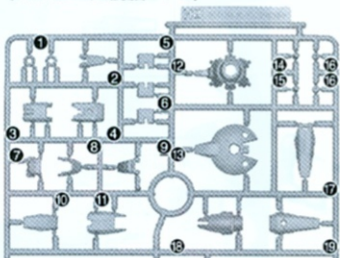
I1パーツ(グレー)

アンダーゲート有D
(スチロール樹脂: PS)



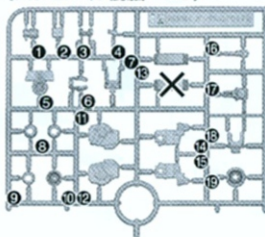
H2パーツ(ホワイト) アンダーゲート有D

(スチロール樹脂: PS)



I2パーツ(グレー) アンダーゲート有D

(スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

リアリスティックデカール……………1枚

GUNDAM GP01Fb ZEPHYRANTHES FULL BURNERN



RX-78GP01 ガンダム試作1号機は、地球連邦軍とAE（アナハイム・エレクトロニクス社）が共同で推進する「ガンダム開発計画」によって極秘裏に試作された実験用のガンダムタイプMS（モビルスーツ）である。公国軍残党「デラース・フリート」によって強奪されたRX-78GP02Aガンダム試作2号機を追って宇宙に上がった後、ゲルググM（マリナス）隊との戦闘において大破したため、AEのフォン・ブラウン工場において大規模な改修を受けることとなった。当初の予定では、汎用性の確保に関しては主機であるコア・ファイターIIなどを換装する事で対応する予定で、他にはショルダーバーニアポッド、脚部へのプロペラントタンクなどの追加のみという単純な工程が想定されていた。しかし、機体の損傷状況を鑑み、完全な宇宙用の機体として仕様変更されることとなった。並行して各種のプランとそれまでの実働データが反映され、コア・ファイターIIは全面的に改装されることとなった。ブーストポッド装備の他、エアインテークユニットはリバー・スラスターに、エンジンブロック自体もMS形態時にはフレキシブルスラスターユニットとして機能するよう大改造が施された。特に上半身の各バーニアスラスターの可動域が拡大し、機動性や運動性が格段に向上することとなった。基本的な追加装備は「GP01」の設計案に盛り込まれていたもの、ここまで大規模な仕様変更は想定されておらず、AEサイドとしても厳戒する必要があったため、機体ナンバーも「GP01Fb」と変更された（これはあくまで便宜上のもので制式番号ではない）。



【コア・ファイターII-Fb】

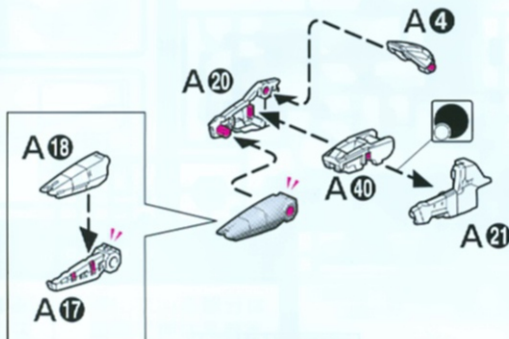
本来は主機の交換のみで対応可能であったはずの「GP01」の「宇宙用」への改裝は、大規模な設計変更を伴いつつ実施されることとなった。主な改造点は空力装備のオミット、メインジェネレーターの高出力化、ビームガン・サーバルユニットのレイアウト変更、熱核ジェット/ロケットから熱核ロケットへの換装、リバー・スラスターの追加装備など、コクピットブロック以外はほとんど新造されたと言っても過言ではない。プロペラントタンクを兼ねたユニバーサル・ブーストポッドの増設は当初から織り込み済みだったが、機体前後部のジョイント構造に大幅な設計変更が施され、その挙動は航宙戦闘機としては画期的な試みとなるはずであった。結果的に、説出力アセルとして、あるいは航宙戦闘機としての運用実績はほとんど残されていない。

CORE FIGHTER II-Fb

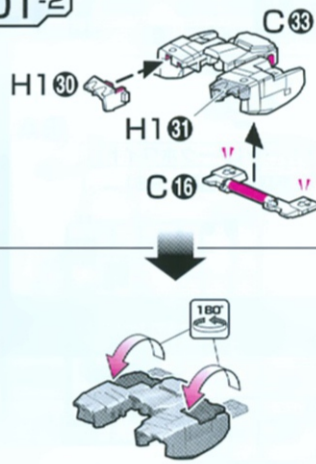


GUNDAM GP01Fb FULL BURNERN
E.F.B.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT

01-1 【コア・ファイターII-Fbの組立】 CORE FIGHTER II-Fb

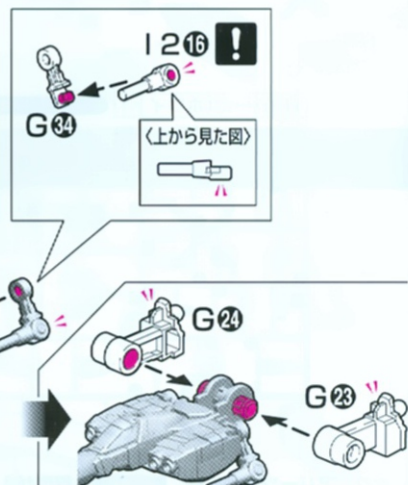
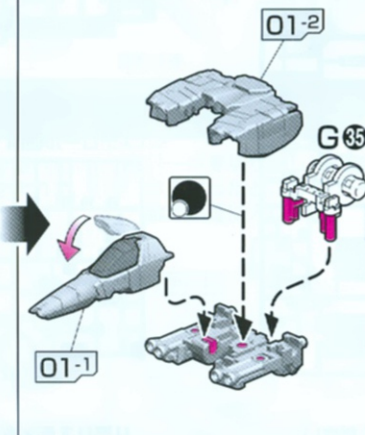
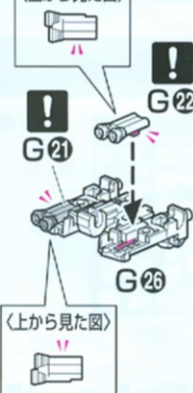


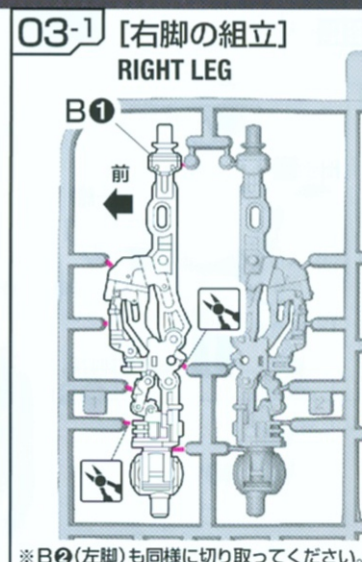
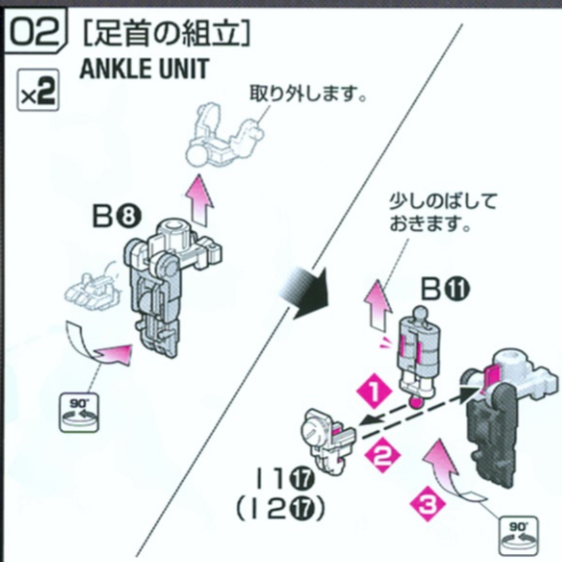
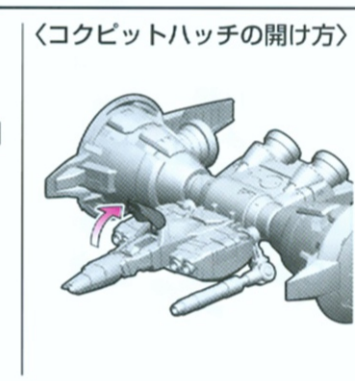
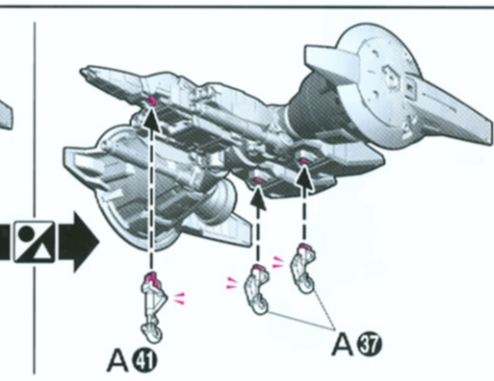
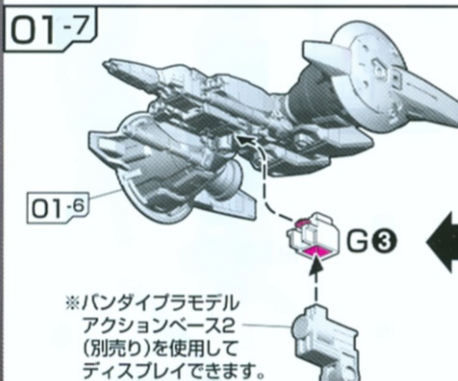
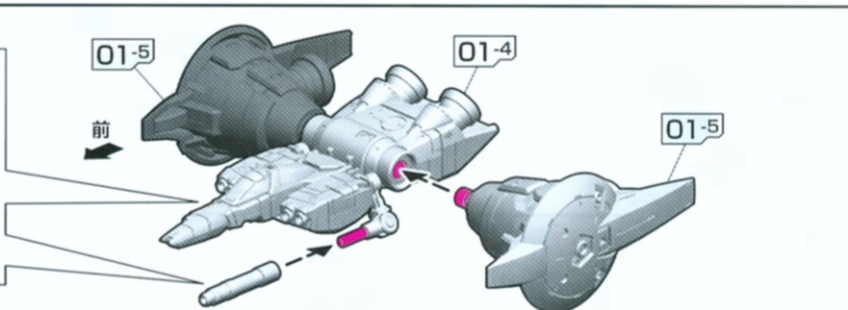
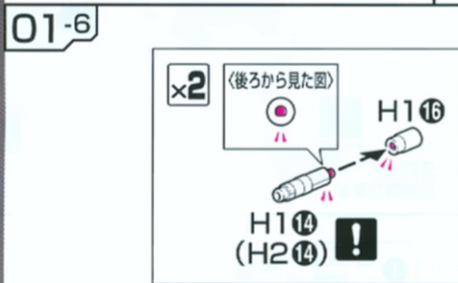
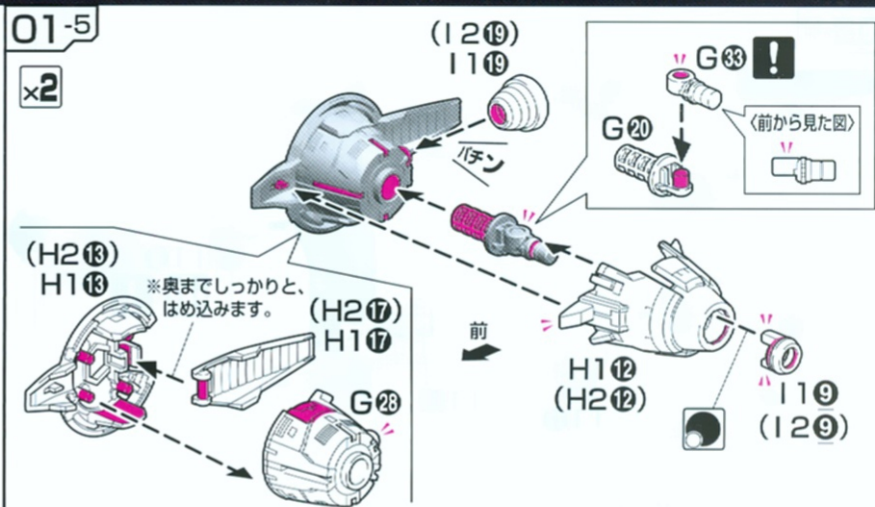
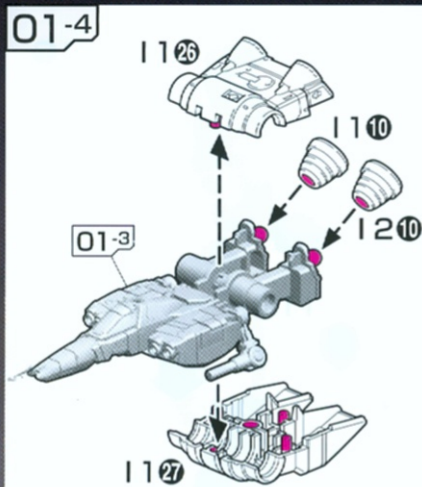
01-2



01-3

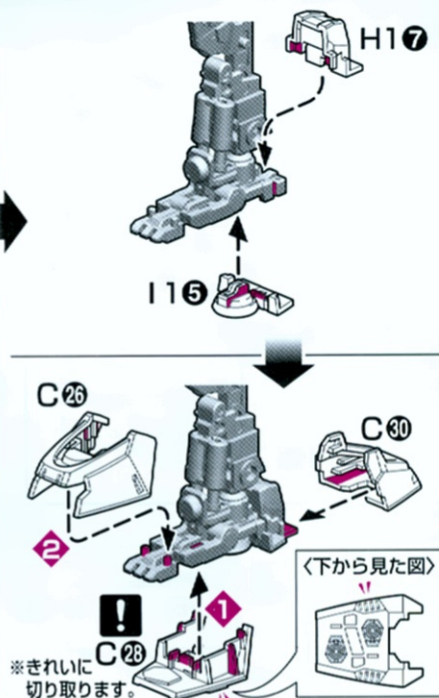
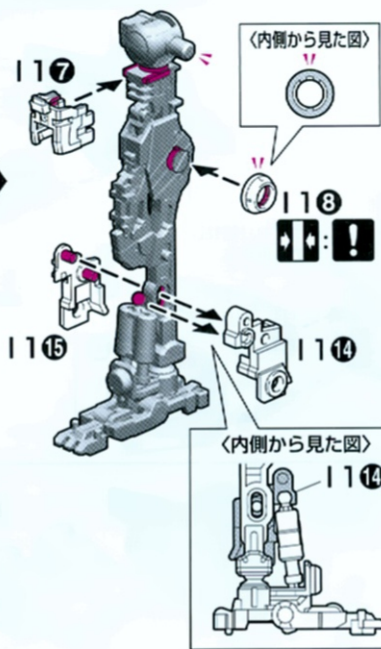
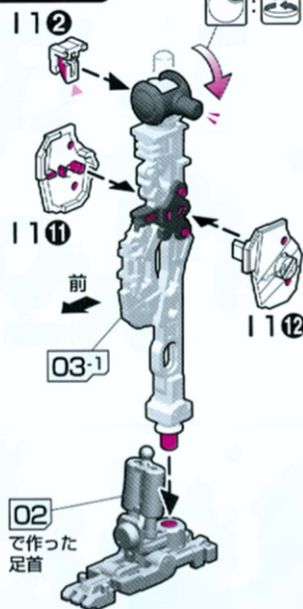
〈上から見た図〉



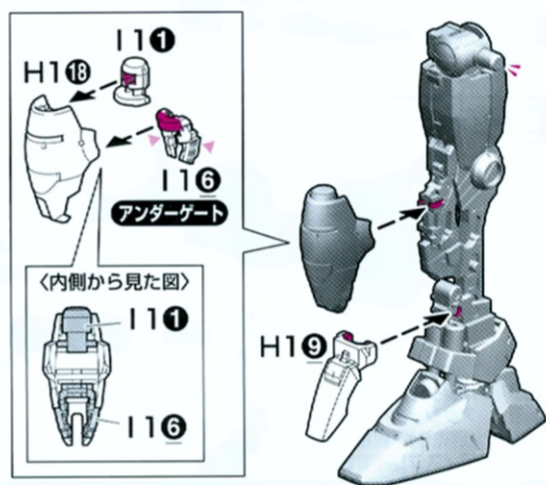
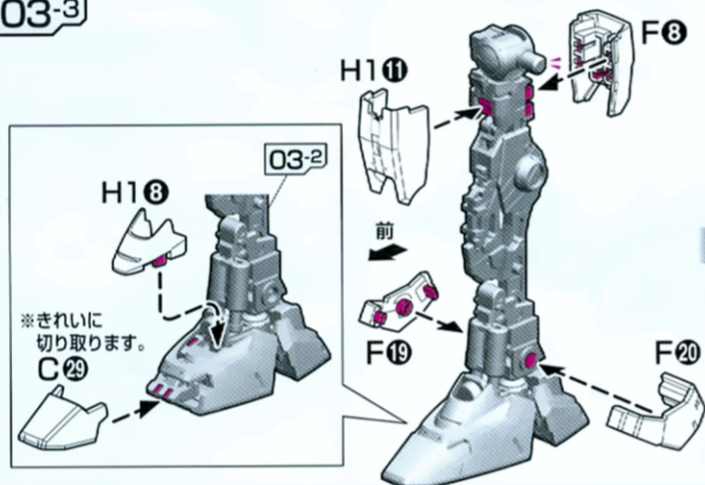


03-2

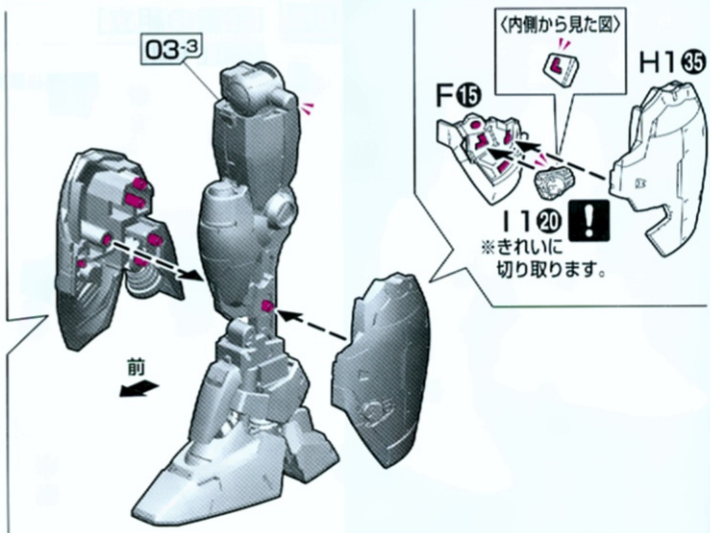
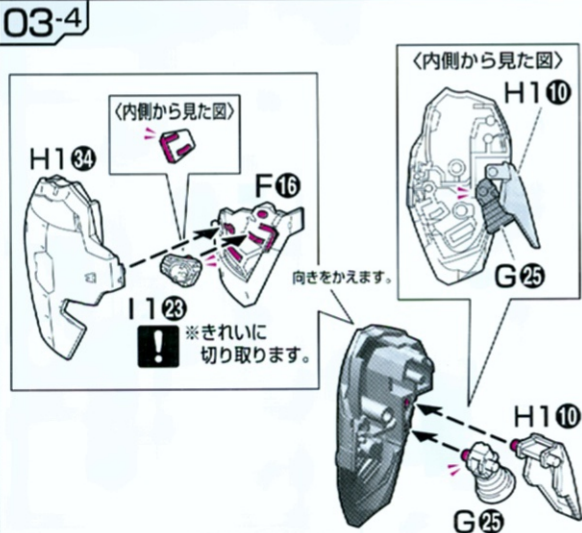
アンダーゲート



03-3

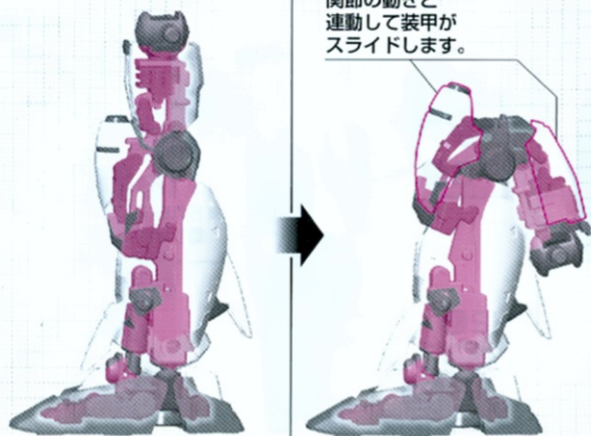


03-4



右脚の可動

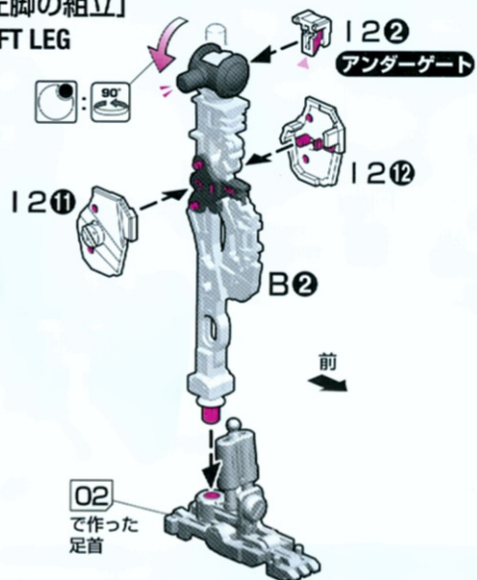
※可動させる際にはスライドする
装甲パーツを押さえないでください。
フレームが破損する恐れがあります。



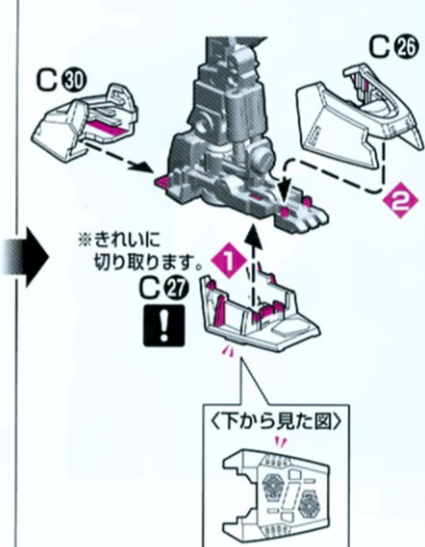
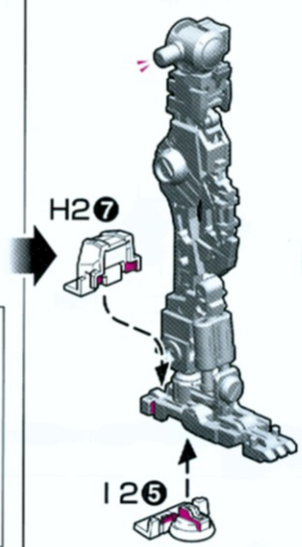
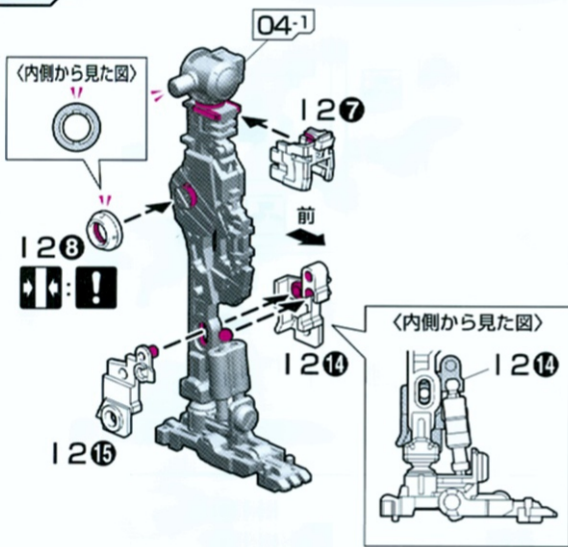
※左脚も完成後、同様に動かしてください。

04-1 [左脚の組立]

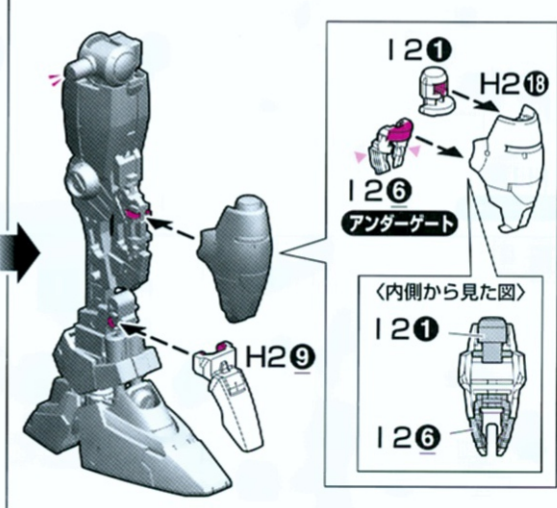
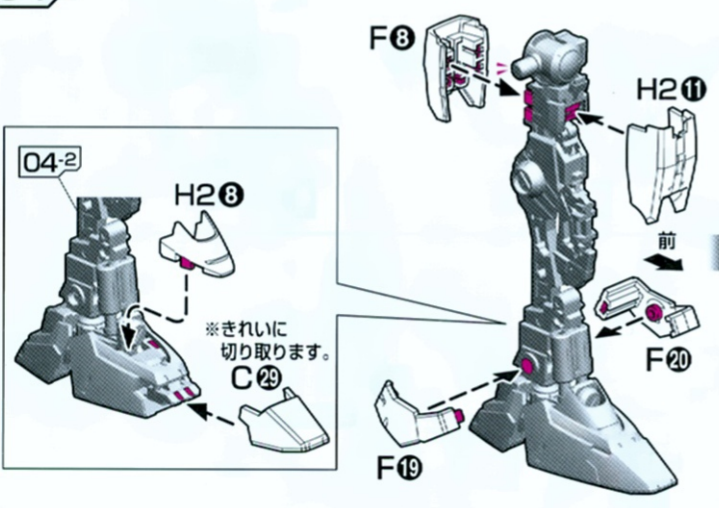
LEFT LEG



04-2



04-3



※組立図中の
記号説明



先に
組み立てる



数値に合わせて
回転させる



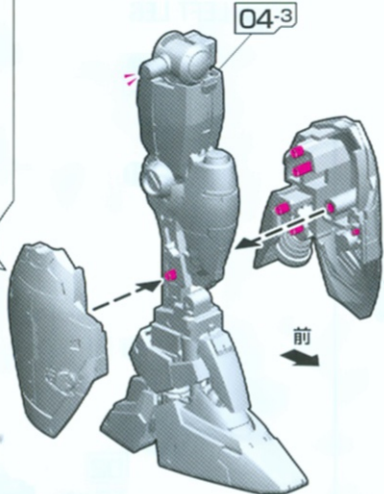
両側に同じパーツ
を取りつける



向きに注意して
組み立てる

04-4

〈内側から見た図〉



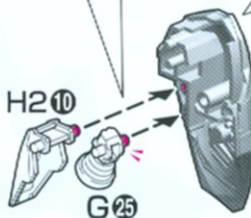
〈内側から見た図〉



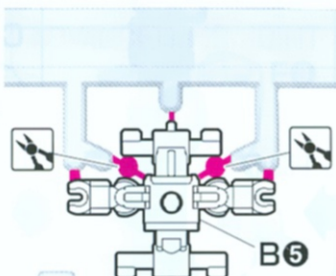
〈内側から見た図〉



向きをかえます。



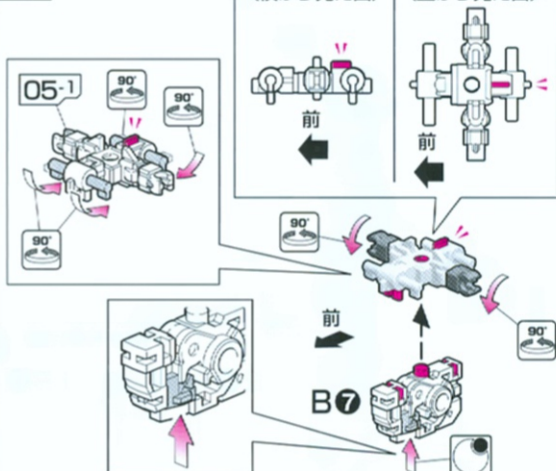
WAIST UNIT

05-1 [腰部の組立]
WAIST UNIT

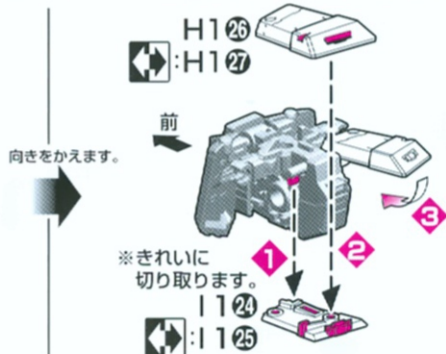
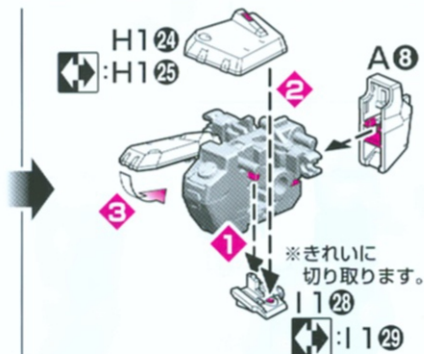
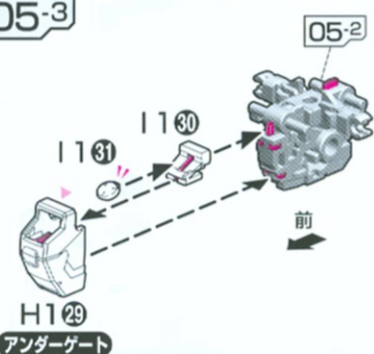
05-2

〈横から見た図〉

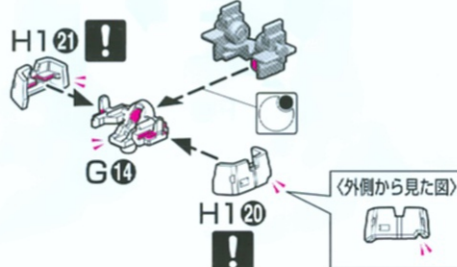
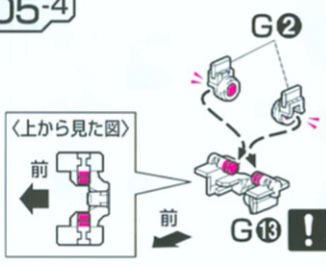
〈上から見た図〉



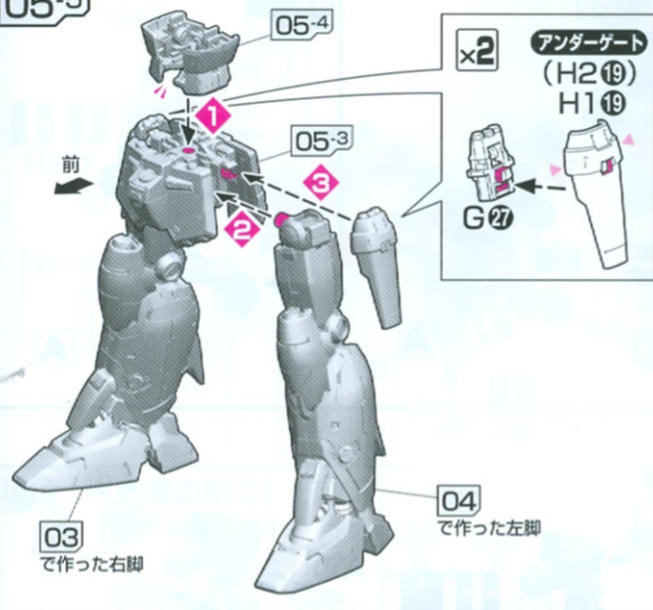
05-3



05-4



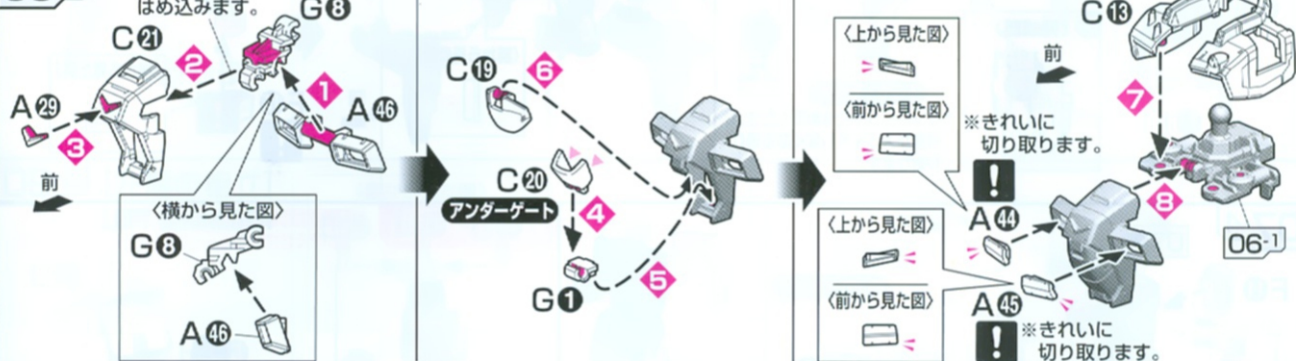
05-5



BODY UNIT

GUNDAM GPO1Fb FULL BURNERN
E.F.S.F. PROTOTYPE MULTIPURPOSE MOBILE SUIT06-1 [胸部の組立]
BODY UNIT

06-2

※奥までしっかりと、
はめ込みます。

VERNIER

MSはもともともAMBAC機動(アクティブ・マス・バランス・オート・コントロール=能動的質量移動による自動姿勢制御)によって、既存の宇宙艦艇などは次元の異なる機動性を実現した宇宙機器として誕生した。さらに、一年戦争における実際の運用法の蓄積に伴って、質量重心から離れた位置に取り付けたバーニアスラスタを積極的に併用する事で、運動性や機動性を格段に向上させることが判明した。かくして、かつてはジンバルが設置された位置で“首を振れる”範囲内でしかベクトルを調節できなかったバーニアスラスタは、多種多様な形状や運用法を獲得し、そのMSの性能を左右するほどの装備として認識されることとなったのである。



ユニバーサル・ブースト・ポッド

プロペラントタンクと一体化した自由度の高いバーニアユニットを、ヒンジとターレットで自在に変位させる補助機動装備。本来の“GPO1”設計案にも含まれていた。



ショルダーバーニアポッド

ショルダーアーマーの上面装甲板と換装する補助機動装備。“GPO1”設計案にも含まれており、最大稼働時にはバーニアノズルが基部からせり出して可動する。

リバーズ・スラスタ

コアファイターII-Fbのインテーク部分に増設された補助機動装備。通常は耐弾性向上のため装甲内に収納されているが、緊急時にはせり出して機体を制御する。

※画像には
バンダイプラモデル
アクションベース2
(別売)を使用しています。※組立図中の
記号説明

x2

部品を数値の
個数作る

!

向きに注意して
組み立てる

9

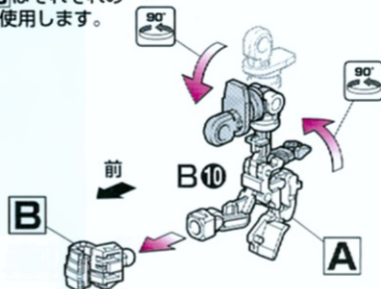
ARM UNIT

GUNDAM GTO176 FULL BARNERN
E.F.S.F. PROTOTYPE MULTITASK MOBILE SUIT

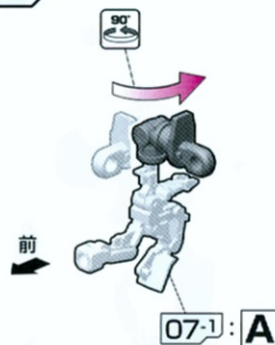
07-1 [右腕の組立]

RIGHT ARM

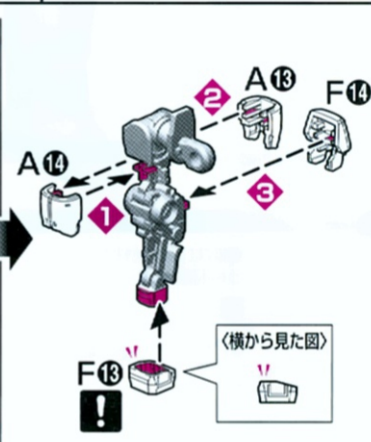
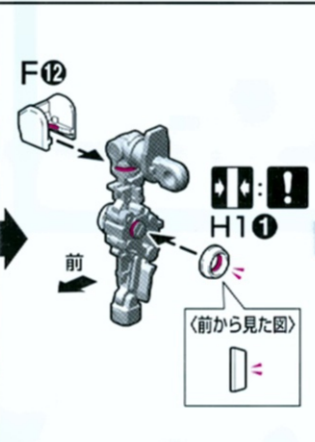
※A・Bはそれぞれの工程で使用します。



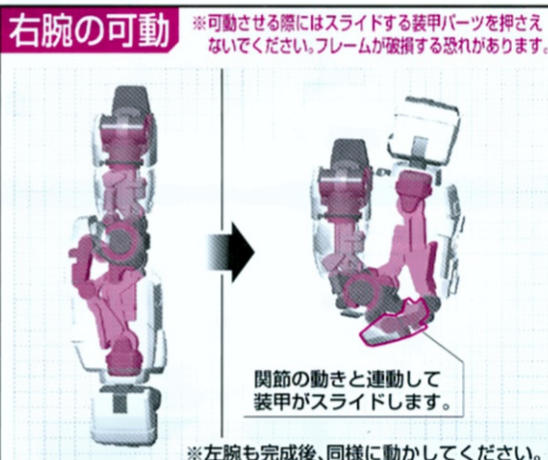
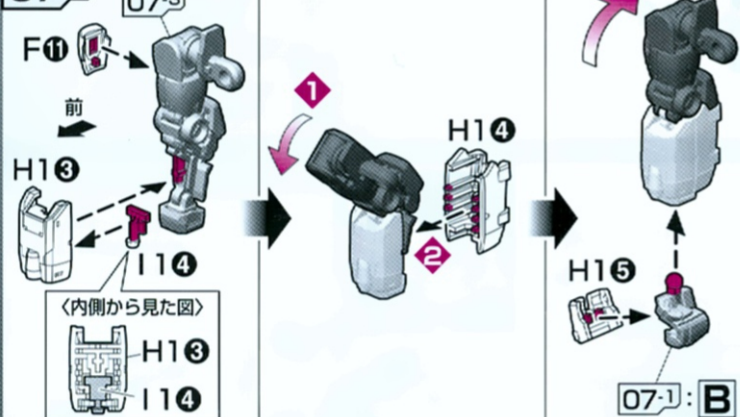
07-2



07-3



07-4

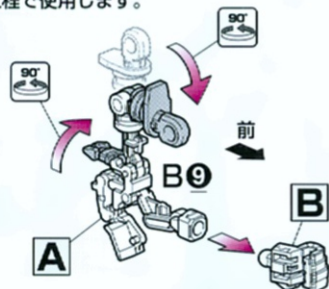


※左腕も完成後、同様に動かしてください。

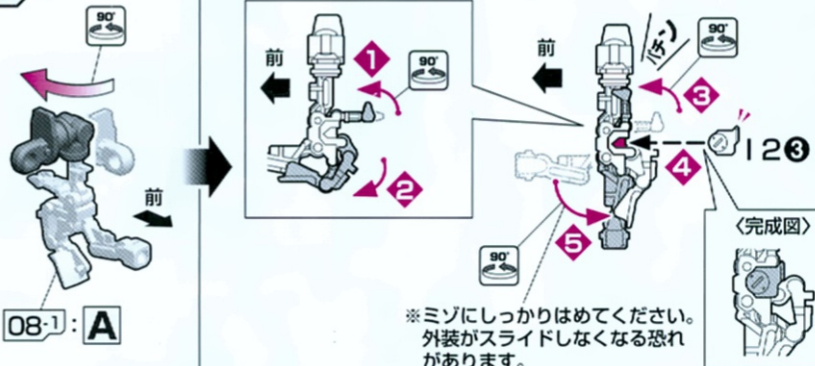
08-1 [左腕の組立]

LEFT ARM

※A・Bはそれぞれの工程で使用します。

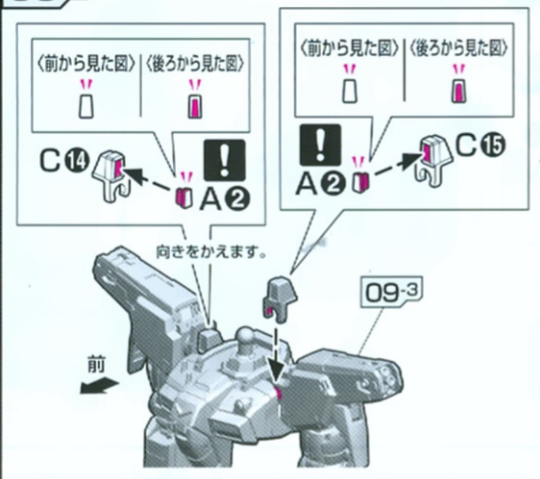


08-2

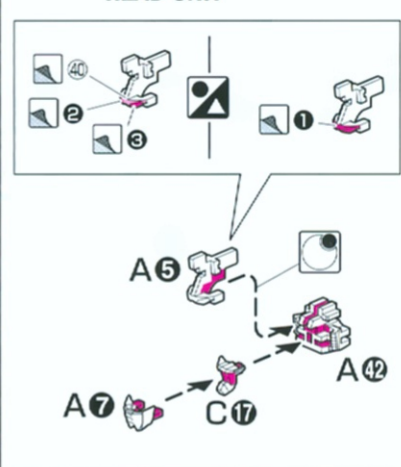


※ミゾにしっかりとめてください。外装がスライドしなくなる恐れがあります。

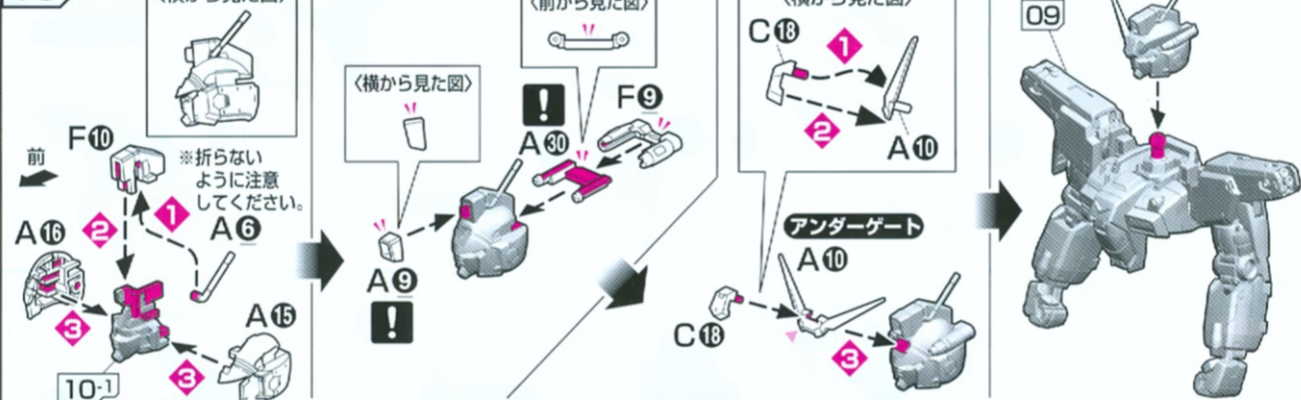
09-4



HEAD UNIT

10-1 [頭部の組立]
HEAD UNIT

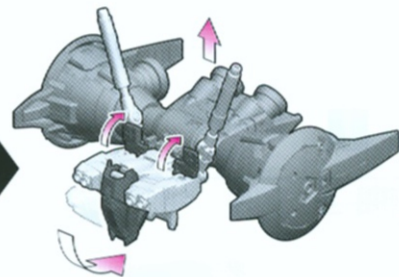
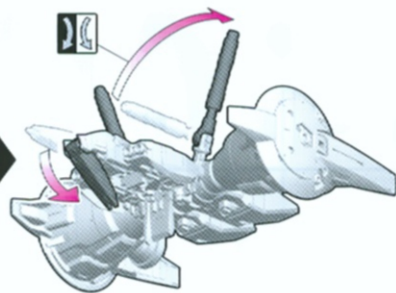
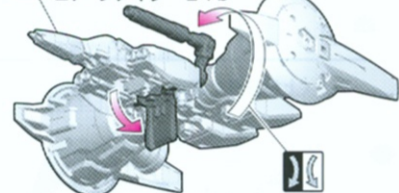
10-2



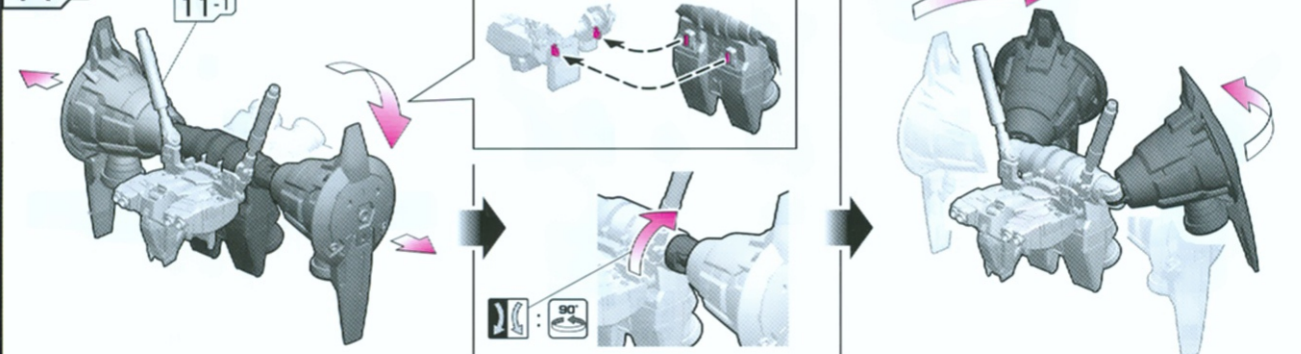
11-1 [コア・ファイターII-Fbの変形]

CORE BLOCK SYSTEM

※ランディングギア(A9①、A9②)、G9①は外しておきます。

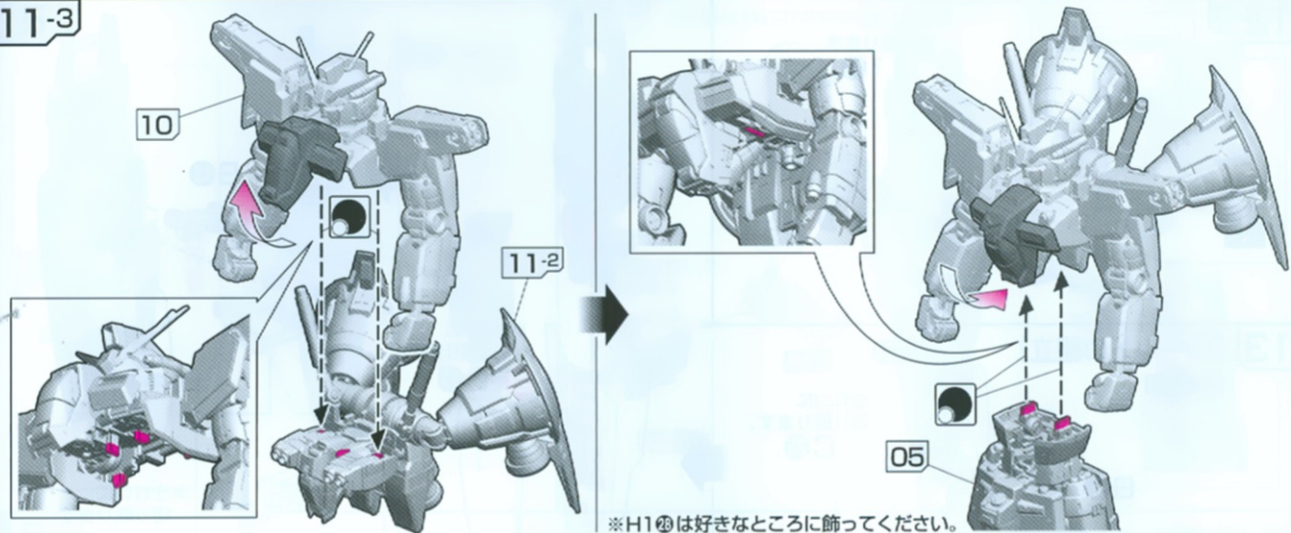
01で作った
コア・ファイターII-Fb

11-2



12

※組立図中の
記号説明! 向きに注意して
組み立てる① シールの
番号☒ どちらかを選ん
で取りつける☉ 先に
組み立てる☒ 両側を同じ
ように動かす90° 数値に合わせ
て回転させる



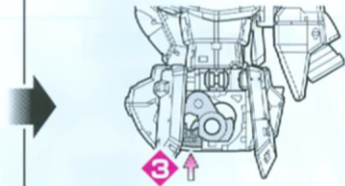
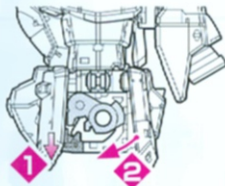
11-4 <コクピットハッチの開け方>



<脚の可動範囲の広げ方>

※脚の可動範囲が広がります。

- ① ロックを下げます。
- ② 股関節を前に動かします。



※説明のため、一部イラストを省略しています。

- ③ ロックを上げます。

WEAPON



| 60mmバルカン砲 |

GP01Fbが頭部に2門装備する機銃。60mm口径の実体弾を高速で連射し、至近距離であれば敵機に致命的なダメージを与える事も可能。

| 専用シールド |

アンチビームコーティングが施されており、ビーム弾の直撃でも数回なら防壁することができる。携行や移送時に配慮して全長を短縮できるほか、ビームライフルのエネルギーバックを2基マウントすることができる。



| ビーム・ライフル |

当時としては画期的なエネルギーバック方式を採用しており、トータルでの射撃可能回数が倍増している。近接戦闘時に敵機のソード系ビーム兵器を防御できる“ジュード”をバルルの下部に装備しているのが特徴。

| ビーム・サーベル |

コア・ファイターに装備されている状態でビーム・ガンとしても使用できる。その威力は当初ほとんど使い物にならなかったが、Fbへの改装に伴うユニット更新とジェネレーター出力の向上もあって有効な武器となった。



WEAPONS



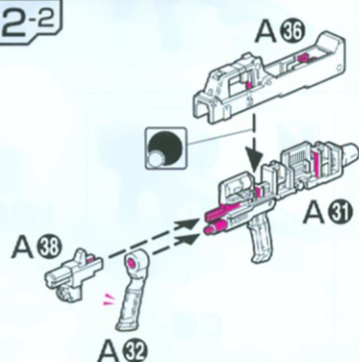
12-1 [ビーム・ライフルの組立]

BEAM RIFLE

※きれいに切り取ります。



12-2



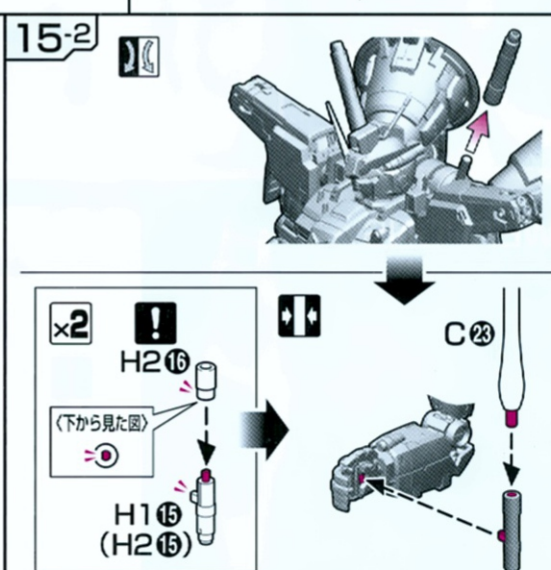
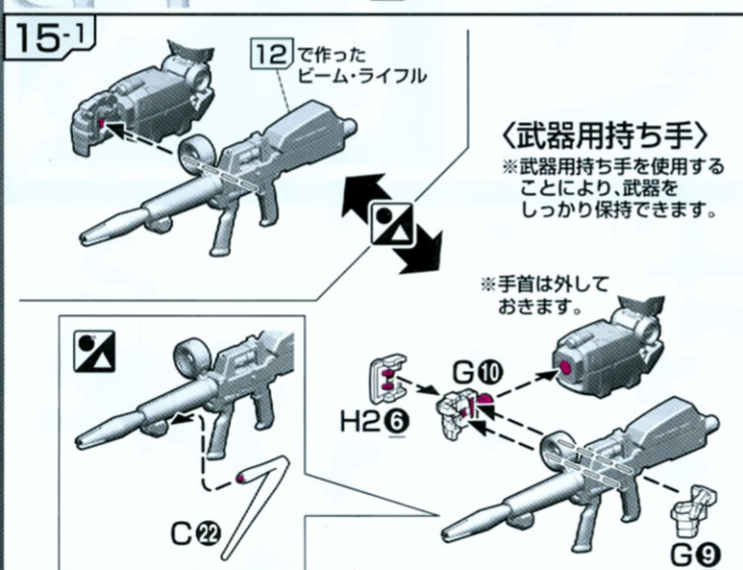
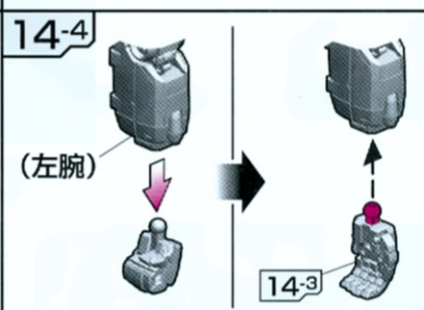
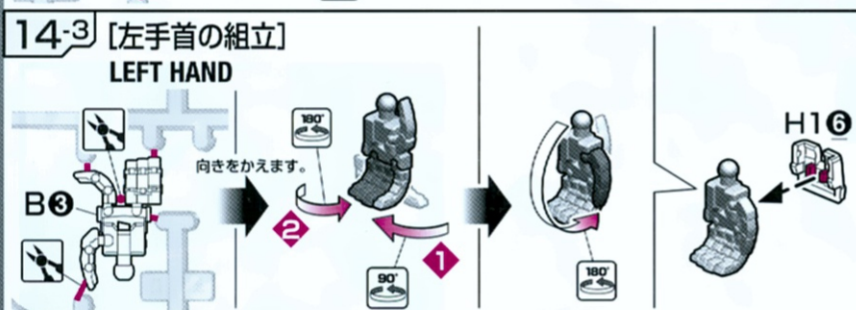
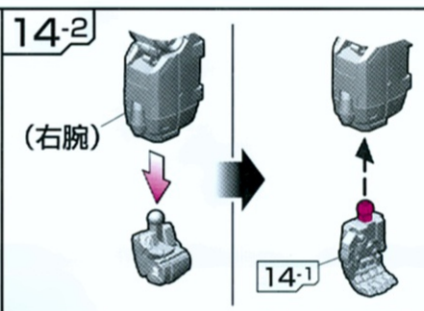
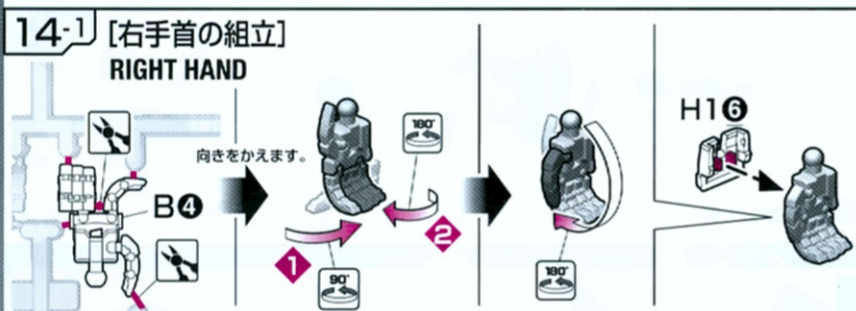
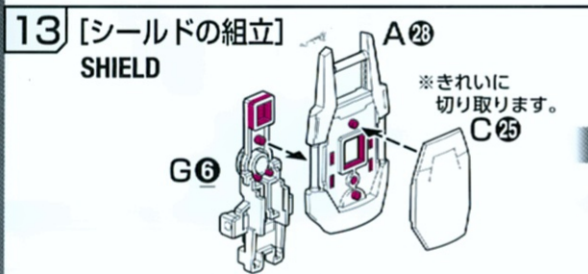
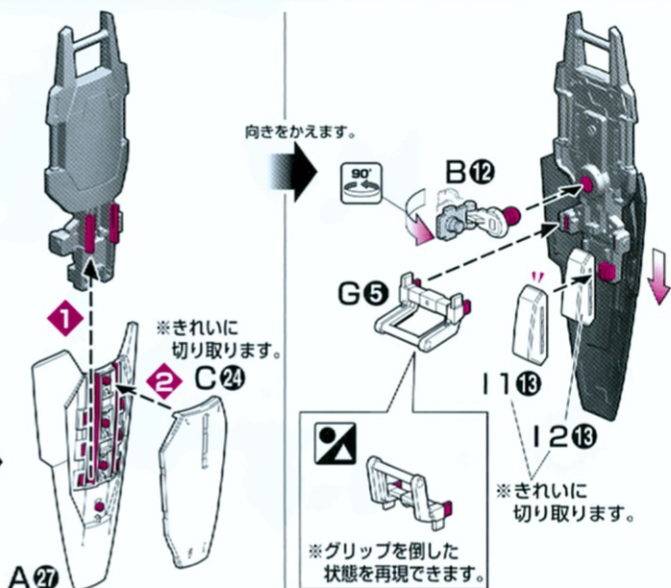
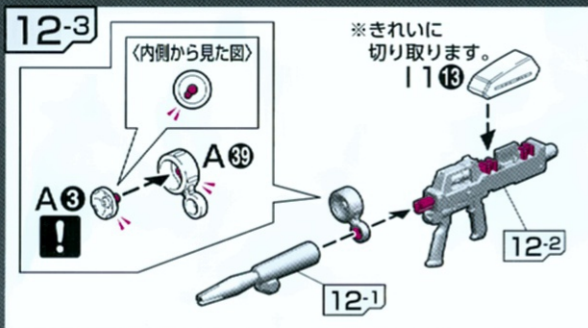
※組立図中の記号説明



後から組み立てる

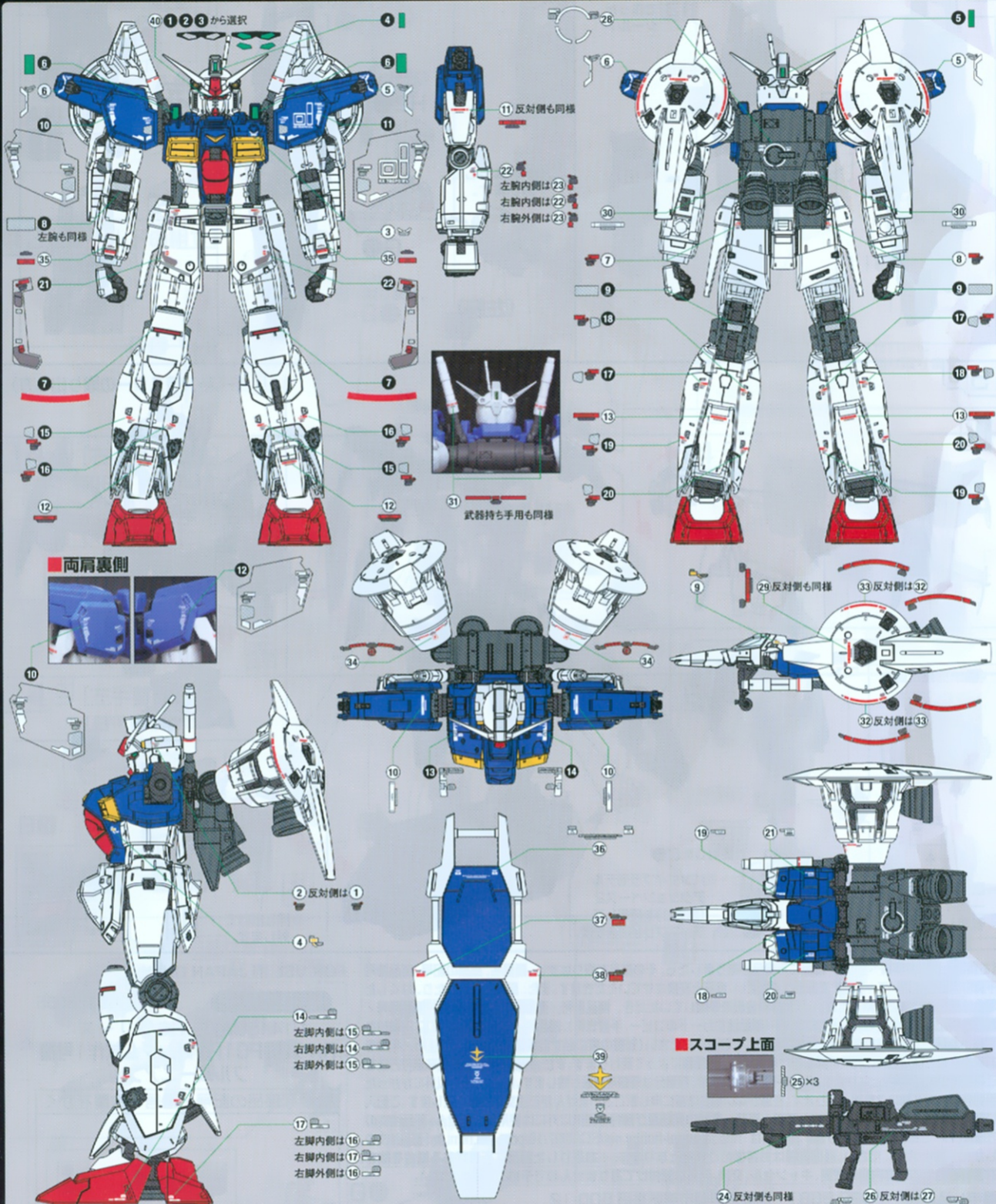


向きに注意して組み立てる



※マーキングシールを貼る位置を数字で表記してあります。
 ※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。
 ※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。※貼り指示は一例ですので、イメージに合わせてお貼りください。

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。



※このマーキングはプラモデルオリジナルのもので、シールを貼る際にはピンセットなどのご使用をお勧めします。

COLOR CHART

※塗装を楽しみたい方は、右の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
 ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお控えください。
 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

■ 本体等ホワイト部の塗装色。
 ホワイト(100%)

■ 本体等ライトグレー部の塗装色。
 ホワイト(95%) + グレー(5%) + ブルー(少量)

■ 胸等ブルー部の塗装色。
 インディブルー(60%) + ホワイト(40%) + ブルー(少量)

■ 本体等レッド部の塗装色。
 モンザレッド(80%) + シャインレッド(40%)

■ インテーク等イエロー部の塗装色。
 イエロー(85%) + ホワイト(30%) + オレンジイエロー(15%)

■ バック(バック)等グレー部の塗装色。
 グレー(80%) + ブラック(20%)

■ ビーム・ライフル等ダークグレー部の塗装色。
 ブラック(70%) + ホワイト(30%)

■ 緑等の塗装色。
 ホワイト(50%) + 薄茶色(50%)

■ 緑等のブラック部の塗装色。
 ブラック(100%) + ホワイト(少量)

■ 深緑ホワイト部の塗装色。
 ホワイト(100%)

■ 深緑ライトブルー部の塗装色。
 深緑(100%) + トーククリップ(少量) + ホワイト(少量)

■ 上層ダークグレー部の塗装色。
 ミッドナイトブルー(80%) + ホワイト(20%)

■ 胸マークレッド部の塗装色。
 モンザレッド(100%)

■ 胸マークイエロー部の塗装色。
 イエロー(80%) + オレンジイエロー(40%)

■ 腕グレー部の塗装色。
 グレー(100%)